平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月29日

上場会社名　株式会社 田谷　　上場取引所　東
コード番号　4679　URL　http://www.taya.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田谷　和正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員経営企画推進室長　(氏名) 田代　久士　TEL 03-5772-8411

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,019	△3.3	△14	―	△27	―	△67	―
24年3月期第2四半期	6,227	△0.7	229	383.6	230	470.9	90	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△13.47	―
24年3月期第2四半期	17.80	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	8,599	4,240	49.3	848.68
24年3月期	8,992	4,418	49.1	884.15

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　4,240百万円　24年3月期　4,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	22.00	22.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	22.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	0.7	345	△31.8	335	△33.3	150	△7.2	30.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧になってください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	5,100,000 株	24年3月期	5,100,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	102,895 株	24年3月期	102,895 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	4,997,105 株	24年3月期2Q	5,057,140 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書
第２四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要等を背景に、景気が緩やかな復調傾向にありますが、世界景気の減速等の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

美容業界におきましても、雇用環境は多少改善したものの、先行き不透明感から消費者の生活防衛意識による節約志向は依然根強く、業界内の競争激化もあり、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社といたしましては『笑顔力』をスローガンに、美容師の技術と笑顔で、多くの方々が“笑顔”になっていただけるように顧客サービス等の一層の充実を図り、地域において顧客満足ナンバーワンのサロンを目指し、既存店の強化を行ってまいりました。

美容施術では、季節毎にヘアカラーの新色を導入し、また化粧品分類溶剤を使用した「コスメカール」など施術のラインナップを充実させ、お客様一人ひとりの髪の悩みを解決し理想のヘアスタイルを実現するオリジナルテクニック「テクスチャーチェンジ（質感変化）」を施し、お客様に喜んでいただけるよう努めてまいりましたが、消費者動向は極めて慎重であり入客数は低迷に推移いたしました。

店舗につきましては、「TAYA&CO.GINZA銀座本店」を銀座晴海通り沿いに移転、クレージュ・サロン・ボーテ２店舗（ミーナ津田沼店、天神今泉店）を新規出店し、当第２四半期会計期間末の店舗数は、美容室149店舗と小売店１店舗であります。

以上の結果、当社の当第２四半期累計期間の業績は、売上高6,019百万円（前年同期比3.3%減）となり、営業損失14百万円（前年同期は営業利益229百万円）、経常損失27百万円（前年同期は経常利益230百万円）となり、四半期純損失は67百万円（前年同期は四半期純利益90百万円）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期会計期間末の総資産は8,599百万円となり、前事業年度末と比べて393百万円減少いたしました。

流動資産の残高は2,656百万円となり、前事業年度末と比べて405百万円減少いたしました。固定資産の残高は5,942百万円となり、前事業年度末と比べて11百万円増加いたしました。主な減少は、現金及び預金の減少355百万円であります。

当第２四半期会計期間末の負債総額は4,358百万円となり、前事業年度末と比べて215百万円減少いたしました。

流動負債の残高は2,512百万円となり、前事業年度末と比べて220百万円減少いたしました。固定負債の残高は1,845百万円となり、前事業年度末と比べて４百万円増加いたしました。主な増加は、社債の純増137百万円、主な減少は、未払法人税等の減少170百万円、長短借入金の純減34百万円であります。

当第２四半期会計期間末の純資産は4,240百万円となり、前事業年度末と比べて177百万円減少いたしました。以上の結果、自己資本比率は前事業年度末49.1%から49.3%に増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物は(以下資金という。)前事業年度末に比べ375百万円減少し、1,489百万円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は22百万円(前年同四半期は294百万円の獲得)となりました。

これは主に、税引前四半期純損失46百万円、法人税等の支払198百万円があったことに対し、減価償却費144百万円、売上債権の減少91百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は355百万円(前年同四半期は91百万円の使用)となりました。

これは主に、店舗の新規出店及び移転にともなう有形固定資産の取得による支出220百万円、敷金及び保証金の差入による支出21百万円、投資有価証券の取得による支出100百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は42百万円(前年同四半期は11百万円の獲得)となりました。

これは主に、社債の純増137百万円があったことに対し、長短借入金の純減34百万円、配当金の支払109百万円があったことよるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第２四半期累計期間の業績を踏まえ、個人消費の先行き懸念等を鑑み、平成24年10月23日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を発表いたしました。これによる通期の業績見通しは、売上高12,600百万円（前事業年度比0.7％増）、営業利益345百万円（前事業年度比31.8％減）、経常利益335百万円（前事業年度比33.3％減）、当期純利益150百万円（前事業年度比7.2％減）となる見込みであります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はございません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失はそれぞれ292千円減少しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はございません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,129,313	1,773,792
売掛金	555,885	464,893
商品	48,011	49,628
美容材料	34,208	35,650
その他	295,577	333,877
貸倒引当金	△1,008	△1,008
流動資産合計	3,061,987	2,656,835
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,786,188	1,772,115
土地	1,375,445	1,375,445
その他（純額）	69,964	62,953
有形固定資産合計	3,231,599	3,210,515
無形固定資産	63,871	59,533
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,141,330	2,088,412
その他	508,749	583,969
貸倒引当金	△15,188	△151
投資その他の資産合計	2,634,891	2,672,231
固定資産合計	5,930,362	5,942,280
資産合計	8,992,349	8,599,115

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年３月31日)	当第２四半期会計期間 (平成24年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	406,671	415,950
短期借入金	149,668	195,236
1年内返済予定の長期借入金	502,866	527,110
1年内償還予定の社債	128,000	135,000
未払法人税等	228,986	58,985
賞与引当金	217,109	198,714
資産除去債務	10,281	1,778
その他	1,089,534	979,641
流動負債合計	2,733,117	2,512,416
固定負債		
社債	150,000	280,000
長期借入金	1,069,121	964,875
退職給付引当金	372,517	372,097
資産除去債務	172,809	180,870
その他	76,578	47,898
固定負債合計	1,841,026	1,845,740
負債合計	4,574,143	4,358,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,180	1,480,180
資本剰余金	1,702,245	1,702,245
利益剰余金	1,395,236	1,217,988
自己株式	△159,455	△159,455
株主資本合計	4,418,206	4,240,958
純資産合計	4,418,206	4,240,958
負債純資産合計	8,992,349	8,599,115

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	6,227,489	6,019,379
売上原価	5,257,720	5,278,583
売上総利益	969,769	740,795
販売費及び一般管理費	740,324	755,525
営業利益又は営業損失（△）	229,444	△14,730
営業外収益		
受取利息	853	728
不動産賃貸料	5,421	5,630
その他	16,045	5,988
営業外収益合計	22,321	12,347
営業外費用		
支払利息	15,140	14,695
不動産賃貸費用	3,678	4,121
社債発行費	－	3,417
その他	2,900	3,006
営業外費用合計	21,719	25,241
経常利益又は経常損失（△）	230,046	△27,624
特別損失		
固定資産除却損	－	4,096
減損損失	17,617	－
訴訟関連損失	－	14,677
特別損失合計	17,617	18,774
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	212,428	△46,399
法人税、住民税及び事業税	121,019	29,622
法人税等調整額	1,405	△8,709
法人税等合計	122,424	20,912
四半期純利益又は四半期純損失（△）	90,003	△67,311

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	212,428	△46,399
減価償却費	132,955	144,420
減損損失	17,617	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	△2,605	△18,394
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△689	△419
貸倒引当金の増減額（△は減少）	150	－
受取利息	△853	△728
支払利息	15,140	14,695
固定資産除却損	－	4,096
訴訟関連損失	－	14,677
売上債権の増減額（△は増加）	23,590	91,673
たな卸資産の増減額（△は増加）	△3,970	△3,013
仕入債務の増減額（△は減少）	36,867	7,444
その他	38,035	39,155
小計	468,665	247,208
利息の受取額	795	313
利息の支払額	△16,338	△14,364
災害損失の支払額	△6,391	－
訴訟関連損失の支払額	－	△12,600
法人税等の支払額	△152,430	△198,003
営業活動によるキャッシュ・フロー	294,300	22,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△213,051	△226,781
定期預金の払戻による収入	201,083	206,415
有形固定資産の取得による支出	△60,229	△220,991
投資有価証券の取得による支出	－	△100,000
敷金及び保証金の差入による支出	△17,283	△21,880
敷金及び保証金の回収による収入	2,045	16,482
その他	△3,940	△8,651
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,376	△355,406

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	368,000	400,000
短期借入金の返済による支出	△318,900	△354,432
長期借入れによる収入	364,000	159,000
長期借入金の返済による支出	△196,770	△239,002
長期未払金の返済による支出	△16,720	△17,154
リース債務の返済による支出	△14,530	△19,188
社債の発行による収入	－	200,000
社債の償還による支出	△63,000	△63,000
配当金の支払額	△110,692	△109,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,386	△42,920
現金及び現金同等物に係る換算差額	△149	△112
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	214,161	△375,886
現金及び現金同等物の期首残高	1,277,492	1,865,423
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,491,654	1,489,536

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はございません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はございません。